

第20回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会 資料

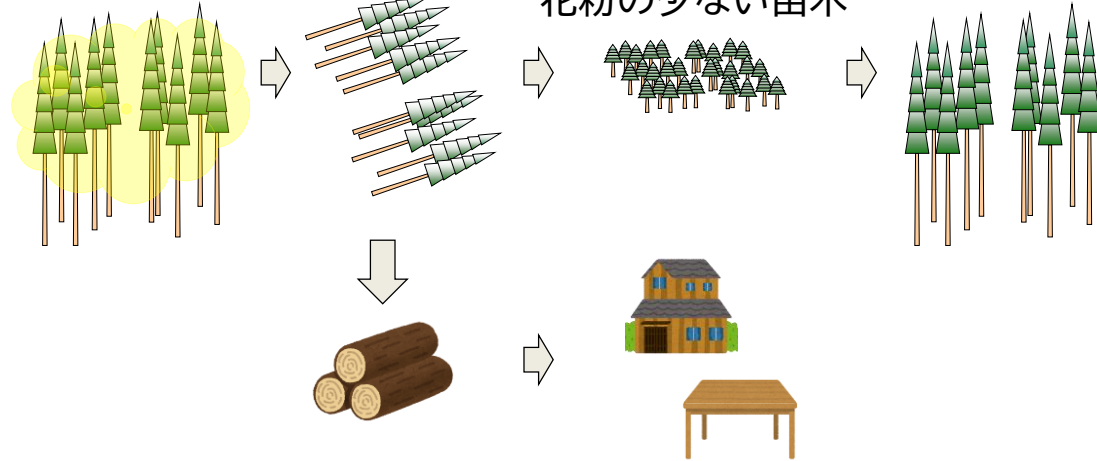
資料1	「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会について	P1
資料2	花粉の少ない森づくりの主要な取組	P2～4
資料3	多摩産材等利用拡大の取組状況	P5～8
資料4	試験・研究・調査	P9
資料5	総合的な花粉症予防・治療対策の推進	P10～12
資料6	花粉の少ない森づくり運動の取組状況	P13～17
資料7	花粉の少ない森づくり運動の今後の展開（案）	P18～23

花粉の少ない森づくり

伐採

植替えと保育

スギ・ヒノキ



多摩産材の利用

花粉の少ない森づくり運動

- 「花粉の少ない森づくり」への理解促進
- 都民・企業が協働して取り組む場の創出

PR活動

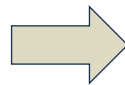
都民・企業

寄付・森づくり活動への参加



「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会

- 「花粉の少ない森づくり運動」の推進に関する意見・情報の交換
- 都民に対する普及・啓発活動の検討



「花粉の少ない森づくり運動」の効果的な進め方への提言

花粉発生源対策

	令和6年度の実績	令和7年度の取組状況
花粉発生源対策	<p>○ スギ・ヒノキ林の伐採</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採実施面積 <u>31ha</u> ・ 平成18年度～令和6年度伐採実施面積（累計） <u>814ha</u> 	<p>○スギ・ヒノキ林の伐採</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採予定面積 65ha
	<p>○ 間伐・水の浸透を高める枝打ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐実績 <u>452ha</u>、枝打ち実績 <u>84ha</u> ・ 平成18年度～令和6年度間伐実績（累計） <u>9,983ha</u> 枝打ち実績（累計） <u>2,667ha</u> 	<p>○ 間伐・水の浸透を高める枝打ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐予定面積 655ha、枝打ち予定面積 120ha
	<p>○ 貯木場（青梅市新町）の 管理運営</p>	<p>○ 貯木場の管理運営</p>



主伐事業地



貯木場

多摩産材の需要拡大

令和6年度の実績

○ 多摩産材の利用拡大

- ・ 公共施設木質空間創出事業（令和元年度～）
- ・ 公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト（平成30年度～）
- ・ 中・大規模建築物等の木造木質化設計、施工支援事業（令和2年度～）
- ・ 多摩産材利用啓発推進事業（平成24年度～）
- ・ 木の街並み創出事業（令和元年度～）
- ・ 保育園等による木育活動の支援事業（令和元年度～）
- ・ 木育体験プログラム（令和元年度～）
- ・ ウッドシティTOKYOモデル建築賞（平成30年度～）
- ・ にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業（平成28年度～）
- ・ 国産木材の情報発信拠点MOCTION（モクション）の運営（令和2年度～）
- ・ 多摩産材の魅力発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」の開設・運営（令和5年度～）
- ・ WOODコレクション（平成27年度～）・ JAPAN ReWOOD（令和4年度～）
- ・ 多摩産材情報センターの管理・運営（平成26年度～）
- ・ 木材利用ポイント事業（令和4年度～）
- ・ とうきょう森づくり貢献認証制度（平成24年度～）

○ 国際的な森林認証の取得

- ・ （公財）東京都農林水産振興財団の管理森林におけるSGEC森林認証の運用
- ・ 民間事業者の補助実績（新規及び更新・維持）
森林管理認証1件、CoC認証16件

令和7年度の取組状況

○ 多摩産材の利用拡大

- ・ 公共施設木質空間創出事業
- ・ 公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト
- ・ 中・大規模建築物等の木造木質化設計、施工支援事業
- ・ 多摩産材利用啓発推進事業
- ・ 木の街並み創出事業
- ・ 保育園等による木育活動の支援事業
- ・ 木育体験プログラム
- ・ ウッドシティTOKYOモデル建築賞
- ・ にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業
- ・ 国産木材の魅力発信拠点MOCTION（モクション）の運営
- ・ 多摩産材の情報発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」の運営
- ・ WOODコレクション
- ・ 多摩産材情報センターの管理・運営
- ・ 木材利用ポイント事業
- ・ とうきょう森づくり貢献認証制度

○ 国際的な森林認証の取得

- ・ （公財）東京都農林水産振興財団の管理森林におけるSGEC森林認証の運用
- ・ 民間事業者の都内森林管理認証やCoC認証の取得及び維持に要する費用の支援

令和6年度の実績

- 普及・広報活動
 - 花粉の少ない森づくり募金
 - 募金実績 37,701,318円
 - (累計) 635,931,531円
 - 花と緑の東京募金
(花粉の少ない森づくり分)
 - 募金実績 2,043,204円
 - (累計) 178,521,096円
- 令和6年度
39,744,522円
(累計)
814,452,627円
- 「企業の森」協定締結
 - ・ 1箇所
 - 平成19年度～令和6年度 (累計)
31団体、40箇所 (約81ha)
 - 森づくり支援倶楽部
 - ・ 個人会員 計214名 法人会員 28団体
 - 九都県市共同での取組を推進
(平成30年3月に第2期10ヵ年計画策定)
 - ・ 花粉発生源対策としての森林整備の推進
 - ・ 地域材利用の推進
 - ・ モニタリング (飛散量測定及び患者数調査)

令和7年度の取組状況

- 普及・広報活動
- 花粉の少ない森づくり募金
 - (※11月末時点)
12,322,129円
- 花と緑の東京募金
(花粉の少ない森づくり分)
 - (※11月末時点)
12,322,129円
- 「企業の森」協定締結
 - ・ 2箇所 / 2団体 (新規) (※予定)
- 森づくり支援倶楽部
 - ・ 個人会員 160名 法人会員 6団体 (※11月末時点)
- 九都県市共同での取組を推進
 - ・ 花粉発生源対策としての森林整備の推進
 - ・ 地域材利用の推進
 - ・ モニタリング (飛散量測定及び患者数調査)

多摩産材等利用拡大の取組状況

公共利用の促進

◆公共施設木質空間創出事業(令和元年度～)

美術館・博物館等の都関連施設において、見て触れることのできる場所やPR効果の高い場所で多摩産材を用いた什器等を積極的に利用

- 令和6年度実績 東京観光財団、晴海客船ターミナル等 8件
- 令和7年度予定 東京辰巳アイスアリーナ、戦没者霊園等 12件



東京観光財団（新事務所）

◆公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト(平成30年度～)

区市町村施設の木造・木質化、木製什器の導入、木製遊具の整備、外構の整備を支援

- 令和6年度実績 15自治体
- 令和7年度予定 17自治体



あきる野市 木造施設の整備

民間利用の促進

◆木材利用ポイント事業(令和4年度～)

住宅の新築・リフォームに多摩産材を一定量以上使用した方を対象に、東京の特産物等と交換できるポイントを交付し、多摩産材の需要拡大を促進

令和6年度から要件変更をし、東京ゼロエミ住宅認証を取得した新築住宅及びCO₂排出量削減を目的としたリフォーム住宅に対して、交付ポイントを加算

- 令和6年度実績 46件

◆中・大規模建築物等の木造木質化支援事業(令和2年度～)

都内に建築を計画する民間施設において、木造木質化の設計・施工にかかる経費の一部を補助し、中・大規模建築物での新たな木材需要を創出

- 令和6年度実績 3件

民間利用の促進

◆ 木の街並み創出事業(令和元年度～)

民間施設（オフィスビルや商業施設等）において、都民の目に触れ、接することができる、建築物の外壁や外構に広く木材の利用を進めることで、多摩産材等を普及し需要拡大

○令和6年度実績 7件

◆ 保育園等による木育活動の支援事業(令和元年度～)

保育園・幼稚園等で、木や森への親しみを深め、木の良さや森林の役割について理解が進むよう、木育活動を支援

○令和6年度実績 区部：28件 市町村：27件

◆ 木育体験プログラム(令和元年度～)

教員等を対象に、多摩産材や東京の森林・林業への理解を深めてもらうため森林をフィールドとした体験ツアーやセミナーを実施

○令和6年度実績 多摩産材見学ツアー：4回実施 教員向けセミナー：2回実施

◆ ウッドシティTOKYOモデル建築賞(平成30年度～)

木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物又は木質空間を表彰することを通じて、大消費地・東京における新たな木材需要を喚起

○令和6年度実績（受賞作品数） 10点

◆ にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業(平成28年度～)

多くの都民が利用し、PR効果が高い民間施設（商業施設や駅舎等）での多摩産材利用を支援し、多摩産材の普及と利用を促進

○令和6年度実績 3件

◆ 多摩産材利用啓発推進事業(平成24年度～)

多摩産材による家づくり等に取り組む団体が行う、多摩産材の普及に資するイベント等を支援し、民間利用を啓発

○令和6年度実績 4件

認証制度

◆国際的な森林認証の取得

近年のSDGsへの関心の高まりや、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、今後の取引に認証材を求められることが増えると予想されるため、多摩産材を取扱う事業者による森林認証の更なる取得を推進

※森林認証…適正に管理された森林から産出された木材であることを第三者機関が認証する制度

○（公財）東京都農林水産振興財団管理森林における森林認証の取得

平成28年3月にSGEC森林認証を取得（令和7年6月時点：947.99ha）

○農林水産物認証取得支援事業

森林管理者・製材・木材加工流通事業者等への都内森林管理（FM）認証やCoC（木材加工流通過程の管理）認証の取得及び維持に要する費用を支援し、認証の維持及び認証取得の拡大を推進

◆東京の木多摩産材認証制度（平成18年度～）

森林所有者から販売事業者に至る多摩産材の流通過程の関係事業者が登録する認証制度を支援

◆とうきょう森づくり貢献認証制度（平成24年度～）

森づくり活動の実施や、多摩産材を利用した企業や都民等の方々に対し、東京の森づくりへの貢献と、二酸化炭素吸収量及び二酸化炭素固定量を認証

情報発信

◆WOODコレクション(モクコレ)(平成27年度～)

多摩産材を含む日本各地の地域材を活用した建材や家具などの製品展示会
○ 令和8年2月12日(木)・13日(金) 東京ビッグサイトにて開催予定



WOODコレクション

◆国産木材の魅力発信拠点MOCTION(モクション)の運営(令和2年度～)

多摩産材をはじめとした国産木材の魅力と木材利用の意義を民間企業等へ発信PRする拠点を開設し、共存共栄の視点から国産木材の更なる利用を推進



MOCTION

◆多摩産材の情報発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」の運営(令和5年度～)

都心部において建築事業者や都民向けに東京の木多摩産材に関する情報発信を行うことで、多摩産材の更なる利用を推進



TOKYO MOKUNAVI

◆多摩産材情報センターの管理・運営(平成26年度～)

多摩産材の製品情報や調達方法などに関する問い合わせ窓口として開設

試験・研究・調査

○低コスト森林施業の推進(R1～R8)

花粉の少ないスギのコンテナ苗の生育状況を調査し、従来の植栽苗(裸苗)との比較等を実施



コンテナ苗
(花粉の少ないスギ)

○都産無花粉スギ採種園造成のための技術確立(R5～R9)

多摩地域に適した無花粉スギの供給を目指し、採種園造成のための交配技術の確立と、多様性確保のための新たな無花粉スギ個体を選抜



優良個体候補の
無花粉スギ

○施設型採種園における種子生産技術の確立(R7～R11)

外来花粉の遮断や害虫の防除等を目的として設置した施設型採種園において、花粉症対策品種から採取する種子の安定生産を目的とした生産技術を確立



東京都の
施設型採種園

○少花粉ヒノキミニチュア採種園の管理技術の開発(R7～R9)

花粉の少ないヒノキの採種量を増やすために必要な、少花粉ヒノキミニチュア採種園の新たな管理技術を開発



少花粉
ヒノキ採種木

○ヒノキの雄花着花特性調査の短期間化に関する研究(R7～R11)

新たな少花粉ヒノキ品種の選抜期間を短縮するための手法を確立



ヒノキの雄花

■ 予防・治療のための情報提供(ホームページ)

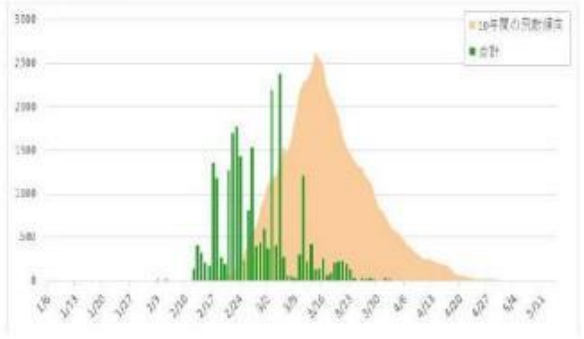
○ アレルギー疾患に関する総合サイト

「東京都アレルギー情報navi.」で総合的な花粉情報を提供

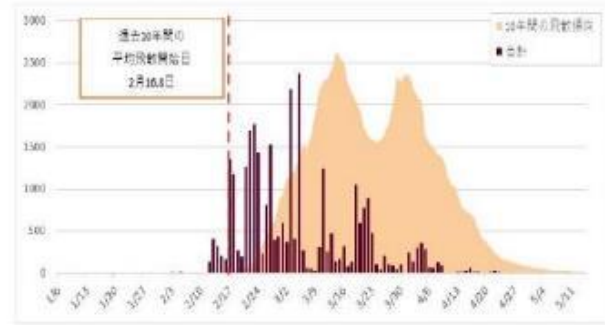
- ・各シーズンにおけるスギ・ヒノキの花粉飛散予測を公表
- ・都で観測した飛散花粉の測定結果をグラフ表示
- ・花粉の基礎知識や花粉症の予防対策、
舌下免疫療法等の情報を掲載



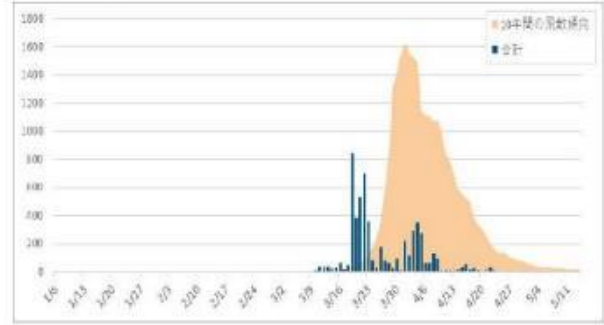
スギ花粉の飛散状況 (個/cm)



スギ・ヒノキ花粉の合計の飛散状況 (個/cm)

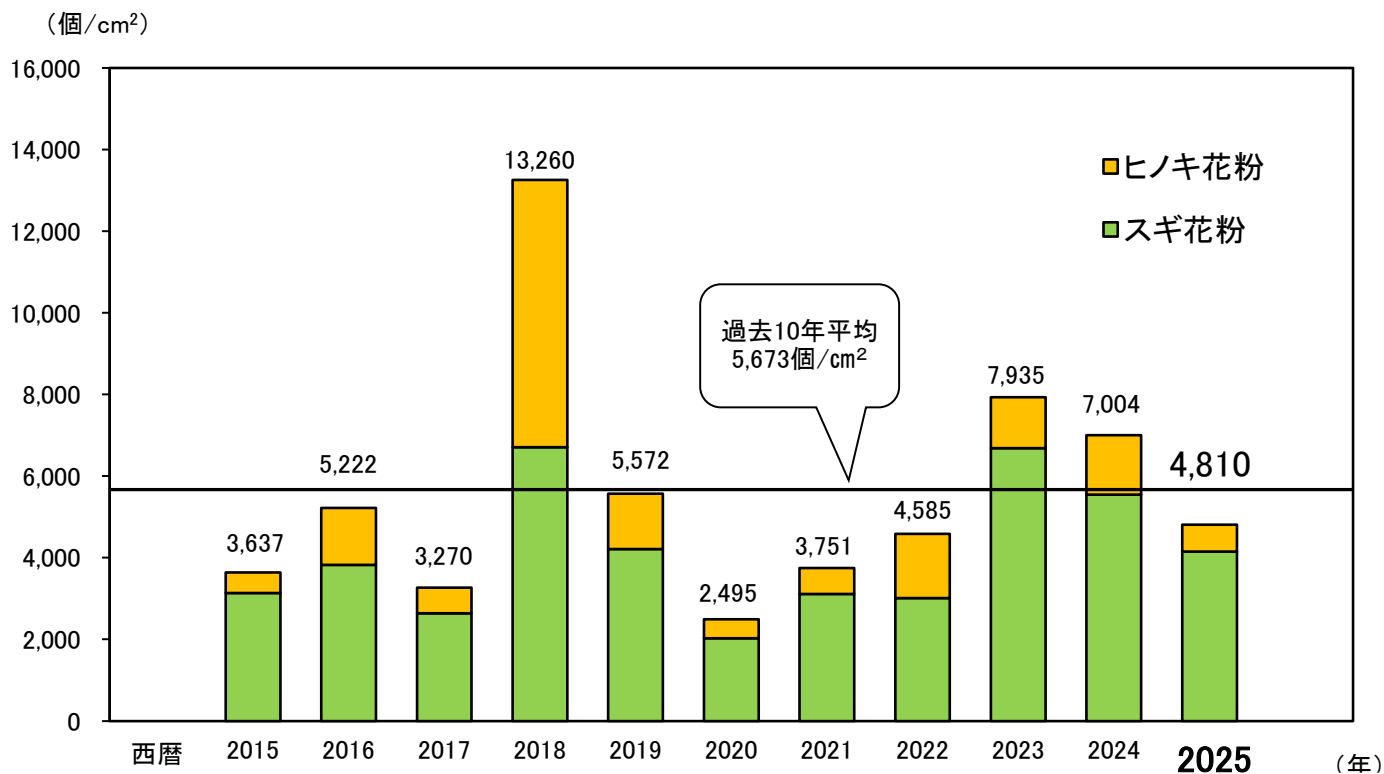


ヒノキ花粉の飛散状況 (個/cm)



■ 今春の花粉観測結果(スギ、ヒノキ花粉)

- 2025年春のスギ・ヒノキの飛散花粉数は2024年春の7割、過去10年間の平均の8割
- スギの飛散花粉数は過去10年の平均並み、ヒノキの飛散花粉数は過去10年平均の4割
- 「東京都アレルギー情報 navi.」 で飛散花粉数の観測結果を公表



都内観測地点12か所のスギ・ヒノキ飛散花粉数の平均

■ 普及啓発

- 「花粉症一口メモ」を作成・配布
 - ・ 保健所や市町村を通じて都民に配布
 - ・ 花粉症の基本的知識や自己管理の方法を掲載
 - ・ 花粉飛散の仕組みや都が提供している花粉情報についても紹介



■ 東京都アレルギー疾患対策推進計画

- 花粉症は、アレルギー疾患対策基本法（平成27年12月施行）における「アレルギー疾患」の一つとして定義
- 法に基づき、花粉症対策を盛り込んだ「東京都アレルギー疾患対策推進計画」を平成30年3月に策定（令和4年3月改定）

花粉の少ない森づくり運動の取組状況

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「普及・広報活動」、「募金等」を実施

● 普及・広報活動(令和6年秋～令和7年夏)

◇PRイベントの開催

- ・ 奥多摩町における森林体験（令和6年11月）
- ・ 高尾599ミュージアムにおける木工体験（令和7年1月）
- ・ 檜原 森のおもちゃ美術館における木工体験（令和7年2月）
- ・ 東京都薬用植物園における出前講座・箸作り（令和7年2月）
- ・ 東京おもちゃ美術館における木工教室（令和7年8月）



奥多摩町における森林体験



東京都薬用植物園における出前講座・箸作り



東京おもちゃ美術館における木工教室

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「普及・広報活動」、「募金等」を実施

● 普及・広報活動(令和6年秋～令和7年夏)

◇ 関連イベントへの参加

- ・ 東京農林水産フェア（東京都農林水産振興財団）
における丸太切り体験（令和6年10月）
- ・ 東京マラソンEXPO2025（東京ビッグサイト）
における出展、記念品配布（令和7年3月）
- ・ Roof Park Fes & Walk（東京高速道路（KK線））
における出展、記念品配布（令和7年4月）
- ・ あきしま環境緑化フェスティバル（昭島市役所）
における木工体験、丸太切り体験（令和7年4月）
- ・ 東京グリーンビズDAY with 麻布台ヒルズ
における木工体験（令和7年10月）



東京農林水産フェアにおける丸太切り体験



東京マラソンEXPO2025への出展



Roof Park Fes & Walkにおける記念品配布

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「普及・広報活動」、「募金等」を実施

● 普及・広報活動(令和6年秋～令和7年夏)

◇ その他PR活動

- ・ 都営地下鉄の駅、森林・木材関連施設等へのポスター掲示
- ・ 新宿駅及び都庁舎デジタルサイネージにおける静止画提出
- ・ 都庁舎内における保健医療局と合同のパネル掲示
- ・ YouTube「東京森づくりチャンネル」における動画配信



東京森づくりチャンネルへの新規配信動画



更新したPRポスター

花粉の少ない森づくり運動の取組状況

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「普及・広報活動」、「募金等」を実施

● 募金等

令和6年度 39,744,522円 累計 814,452,627円

◇ 花粉の少ない森づくり募金

令和6年度実績 37,701,318円（累計 635,931,531円）
（内訳）

企業の森	15,999,229円
東京マラソンチャリティ	10,459,000円
パスモ電子マネーによる募金	3,996,383円
一般募金など	7,246,706円

◇ 花と緑の東京募金※

（花粉の少ない森づくり）分

令和6年度実績 2,043,204円

令和6年度末の累計 178,521,096円

※平成28年度6月までは「緑の東京募金」

◇ 企業の森

○ 森づくり協賛企業による森林整備の推進

- ・ 協賛企業による森づくり費用等相当分の寄附
- ・ 森林整備による環境貢献
- ・ 花粉の少ない森づくり基金への募金

○ 令和6年度 新規協定締結 1団体（1箇所）
（日本事務器株式会社）



第40号「日本事務器100周年の森・青梅富岡」
（青梅市富岡）

花粉の少ない森づくり運動の取組状況

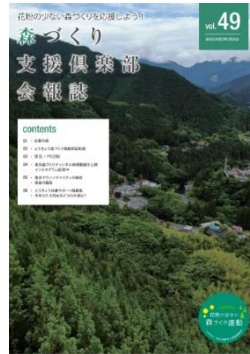
都民、企業等から幅広く協力を得るため、「普及・広報活動」、「募金等」を実施

● 募金等

◇ 森づくり支援倶楽部

○会費の一部を森林整備に充当
会員数（令和6年度末）
個人214名 法人28団体

- ・ 会報誌の発行
- ・ メールマガジンの配信
- ・ 木工品等特典の配布



会報誌

◇ パスモ電子マネーによる募金

○都営地下鉄構内の自動販売機等での
PASMO売上金の一部を募金に充当

寄付金額 46,511,560円
(平成18～令和6年度分)



◇ 東京マラソンチャリティ

○東京マラソン・東京レガシーハーフマラソンチャリティ事業を通じた募金活動による募金を活用し、森林整備等の森づくり体験を実施

寄付金額 133,557,515円
(平成24～令和6年度分)



◇ キャッシュレス対応の推進

○従来の募金方法に加えて「花粉の少ない森づくりホームページ」より「クレジットカード決済」での募金受付を実施

○PRイベント等での木工体験の参加費について「PAYPAY」による決済扱いを実施

令和7年の新たな取組

- **企業CSR活動との協働プロジェクトを開始**
エスエス製薬(株)と協働し、鼻炎薬の売り上げの一部が寄付される取組により、広く当運動について周知
- **「企業の森」の新たな形態<ネーミングライツの森>の新設**
より多くの企業の参画に向けて、対象地を拡大、体験を伴わないなど多様な参画のあり方に対応した仕組みを新設
- **花粉の少ない森づくり運動の新たな支援者層の開拓**
新たな手法(クラブ、各電子決済)の活用にもチャレンジ、当運動の理念に共感する新たな支援者層開拓を推進

令和8年の展開

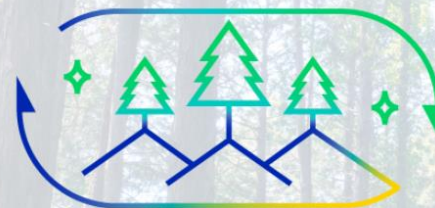
<スギ・ヒノキ花粉シーズンを運動を周知する好機ととらえ、キャンペーンを開催 (令和8年2月～3月)>

- 国、都、市町村、都のコラボレーションパートナー企業等の関係機関が連携しXポストによる一体感ある一斉発信を実施
- 企業へのPRに向け、庁内各局と連携した、企業向け商談会・展示会への出展 (1/28～30グリーンインフラ産業展に出展)
- ターゲットを明確にしたインターネット広告等の集中的な展開 (「花粉」「森林」などのキーワードでターゲティング)
- 「森づくり支援倶楽部」の加入促進キャンペーンの実施 (期間限定特典プレゼント)

<これまでの取組を発展し、「花粉の少ない森づくり運動」のムーブメントを展開 (令和8年4月～)>

- **展開1「CSRに関心の高い企業との連携の強化」**
 - ・企業の本業活動と連動した取組を積極的に推進。企業・消費者を巻き込んだムーブメントを展開
- **展開2「新たな支援者層への効果的なPR(専門的な広告事業者の知見を活用)」**
 - ・ファミリー層、また東京多摩地区を中心とした支援層に加え、若年層、また23区や全国に向けたPRを展開
 - ・マーケティング手法を活用し、ターゲットの属性に合わせた効果的な訴求やインパクトのあるPR手法を採用
- **展開3「国や市町村、庁内等の関係機関等との取組強化(幅のある取組)」**
 - ・多くの人の目にふれやすい市役所や町村役場でも新たに募金活動・PR等実施、モクナビなど他部署展示会の活用

わたしオン アレジオン



1箱につき1円を花粉レスな森づくりへ

花粉の少ない 未来プロジェクト

アレジオン × 東京都農林水産振興財団

花粉の少ない森づくり運動の今後の展開(案)

イベント・展示等を通じて、都民・企業等へ「森林の大切さ」、「花粉の少ない森づくり」について普及啓発

(赤字は新たな取組)

花粉飛散時期PR

○国や市町村、庁内の関係部署、都のコラボレーション パートナー企業等の関係機関と連携した一体感のあるPR

→3月2日(予定)に関係機関とのXポスト・リポストによる一斉情報発信等)



○若年層や中高年層などに向け、また「花粉症」「森林」に関心の高い層への効果的なターゲット広告(ネット広告等)

○CSRに関心の高い企業に対する「(体験を伴わない)ネーミングライツの森」をPR

→新たにHPおよびSNSにより情報を発信

○森づくり支援倶楽部の会員加入キャンペーン実施

→期間限定特典付き

○BtoB商談会・展示会への出展

→1/28~30グリーンインフラ産業展に政策企画局グリーンビズと連携し出展)

○親和性のある施設でのPR

- ・ TAKAO 599 MUSEUM、檜原 森のおもちゃ美術館における多摩産材の木工教室、東京都薬用植物園での講座

○イベント等を活用したPR

- ・ あきしま環境緑花フェスティバル等のイベントに出展。

○東京マラソンチャリティ事業でのPR

- ・ 東京マラソンEXP0にチャリティ団体としてブースを出展し運動をPR。



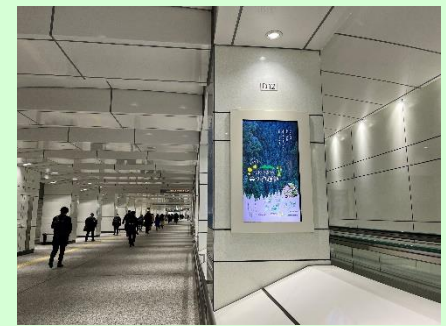
東京都薬用植物園での花粉の少ない森づくり運動講座



あきしま環境緑花フェスティバル



東京マラソンチャリティブース状況 新宿駅4号街路デジタルサイネージ



花粉の少ない森づくり運動の今後の展開(案)

イベント・展示等を通じて、都民・企業等へ「森林の大切さ」、「花粉の少ない森づくり」について普及啓発

花粉飛散時期PR

○展示ブース等の設置

様々な施設において、森林の役割などの解説パネルの展示等により、花粉の少ない森づくり運動を普及啓発。

- ・ 山のふるさと村
- ・ TAKAO 599 MUSEUM
- ・ 檜原 森のおもちゃ美術館

○ポスター等の掲出

(多摩地域)

- ・ 高尾ほか各ビジターセンター
- ・ きらぼし銀行
- ・ 東京都奥多摩都民の森
- ・ 東京都薬用植物園
- ・ 東京都檜原都民の森
- ・ 国営昭和記念公園

(23区)

- ・ 東京おもちゃ美術館
- ・ 木材会館
- ・ ECOM駿河台
- ・ きらぼし銀行
- ・ 木材・合板博物館
- ・ 都営地下鉄15駅(巣鴨駅、大手町駅等)

○とうきょう森づくり貢献認証制度の活用

協賛企業に対して、「とうきょう森づくり貢献認証制度」の申請を積極的にサポートし、森林整備を通じての二酸化炭素吸収量の認定を推進することにより、「森林循環」や「花粉の少ない森づくり運動」への理解促進と意識啓発を図る。

○都庁1階中央部アートワーク台座でのパネル展示

花粉症予防・治療に関する基礎情報及び花粉発生源対策の取組について解説したパネルを展示。



木工体験
(檜原 森のおもちゃ美術館)



展示ブース
(TAKAO 599 MUSEUM)



とうきょう森づくり貢献認証制度認定書授与式

花粉の少ない森づくり運動の今後の展開(案)

イベント・展示等を通じて、都民・企業等へ「森林の大切さ」、「花粉の少ない森づくり」について普及啓発

(赤字は新たな取組)

年間を通した取組

○「企業の森」に加え、「(体験を伴わない)ネーミングライツの森」や、
企業の本業活動と連動した取組の推進→新たな専用の募集WEBサイトを設置



森林体験イベント

○若年層や中高年層などの「花粉症」「森林」に関心の高い層へのPR
(民間の専門的なPR事業者の知見も活用)
→効果的なターゲット広告等 (Google広告、SNS広告等)
→広く目につくインパクトのある広告等
(新聞一面広告、電車車体広告等)



東京森づくりチャンネル画面

○「花粉の少ない森づくり」募金箱設置場所の拡大
多摩産材で製作した募金箱をイベント時や都庁舎内への設置に加え、関係機関にも設置場所を広げ花粉の少ない森づくりへの支援の一層の拡大を図る。

○YouTube(東京森づくりチャンネル)による動画配信
興味と理解の促進に向け、より分かりやすい動画を配信。

○森づくり支援倶楽部の運営

会員向け森林体験イベントの開催や会報誌・メールマガジンの発行、木工品の進呈等を通して、運動の啓発と支援の輪の拡大を図る。

→会報誌上での「プレゼント企画」などの魅力向上



森づくり支援倶楽部の記念品

花粉の少ない森づくり運動の今後の展開(案)

(赤字は新たな取組)

イベント・展示等を通じて、都民・企業等へ「森林の大切さ」、「花粉の少ない森づくり」について普及啓発

年間を通した取組

○都市部(23区内)におけるより積極的なイベントの開催

政策企画局及び民間施設と連携し都市部でのイベント開催。

- ・東京グリーンビズ等のイベントと連携した出展
- ・東京おもちゃ美術館でのイベントの充実(新宿区四谷)

○企業の森における「森づくり」のイベント支援

企業が実施する森づくりイベントを技術面・安全面のサポート強化。

○東京マラソン及びレガシーハーフマラソン

チャリティ団体としての参加を通して運動をPR。

○森林体験イベント

森づくり支援倶楽部と東京マラソンチャリティの共催で森林整備等の体験イベントを実施。

○イベント等における電子決済による体験料授受の本格実施

体験料等の円滑な授受。(QRコード決済、クレカタッチ決済等)

○東京農林水産フェアでのPR

木工体験イベントや丸太切りチャレンジを通して運動をPR。



東京グリーンビズDAY with 麻布台ヒルズ



募金箱
(都庁舎内に設置)